

チャンス・チャレンジ・チェンジ

秋田県立養護学校天王みどり学園 加賀谷 勝



中間評価をしよう!

1 校・園内支援体制の評価（特別支援教育コーディネーターとして）

(1) 校（園）内支援体制を構築する4つのポイント

- ①校・園内委員会の設置
 - ・子どもの実態把握 ・支援会議の開催 ・関係機関との連携 ・研修会の企画
- ②特別支援教育コーディネーターの指名
 - ・校・園内の連絡調整 ・担任へのアドバイス ・関係機関との連絡調整 ・保護者の相談窓口
- ③「個別の指導計画」、「個別の教育支援計画」の作成と活用
 - ・個別の指導計画⇒指導のツール ・個別の教育支援計画⇒関係機関との連携のツール
- ④特別支援教育に関する年間計画の作成
 - ・子どもの実態把握、支援会議の開催、巡回相談、研修会、就学先との引継ぎ 等

(2) 年間計画に基づいた中間評価をしよう（Plan⇔Do⇔Check⇔Action）

評価の4つの視点

計画 実践 評価 改善

- ①校・園内委員会の活動とコーディネーターの役割
- ②「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」の活用と子どもの変容
- ③教職員の共通理解と専門性の向上
- ④地域の関係機関や保護者との連携



Check

- ① 成果→
- ② 課題→

Action

・後期に向けての改善点や手立て→

2 「個別の指導計画」の評価（Plan⇔Do⇔Check⇔Action）

(1) 目標設定の4つのポイント

目標は見えるものにする!

- ①個々の発達段階に応じた目標～現在、必要な力を付けるための具体的な目標とする。
- ②子ども主体の肯定的な目標～子どものよいところを伸ばす目標とする。
- ③明確で焦点化されている目標～優先順位を付けて目標を絞り、保護者と共有する。
- ④評価基準が示されている目標～どれくらいできれば達成されたか客観的に評価できる。

(2) 目標設定と支援内容・方法の実際

目 標	支援内容・方法
・板書をノートに書き写す。 ↓ ・決められた部分の板書をノートに書き写す。	・できるだけ大きな文字で黒板に書く。 ↓ ・写す箇所をチョークで色分けたり線で囲んだりする。 ・書くと聞く時間を区別する。（1時1作業） ・支援員が付箋にメモをしてノートにはる。 ・板書計画を手元に置いたり、ワークシートを活用したりする。 ・ノートに書き写す際に平仮名表記を認める。等

